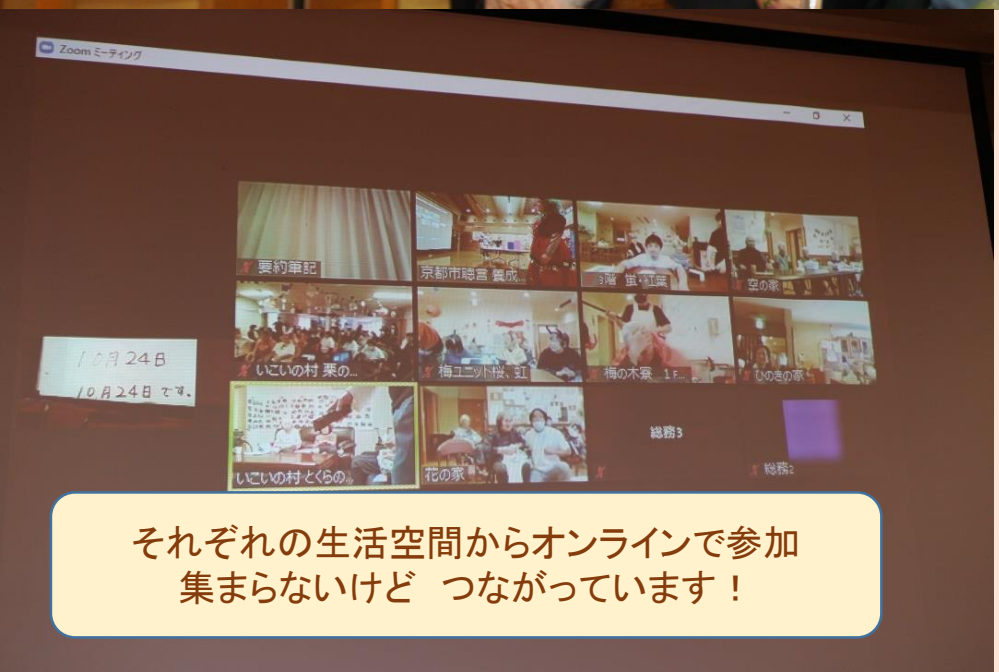
２０２０年（令和２年）１１月２０日発行
第４３３号
発行責任者　いこいの村聴覚言語障害センター
所長　岩本　幸子
編集　いこいの村編集委員会
〒６２９－１２４２
綾部市十倉名畑町久瀬谷２番地
TEL（０７７３）４６－０１０１
ファクス（０７７３）４６－０６１０
http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi

レッツ・エンジョイ 村フェス TDI

みんなでつくる繋がりの輪



それぞれの生活空間からオンラインで参加
集まらないけど　つながっています！

新型コロナウイルス流行のためたくさんの方が集まるいこいの村まつりは中止せざるを得ませんでした。

それでも、「つながりを大切にしたい」そんな思いを込めて施設行事として「村フェス」を開催しました。

密に集まることのないまつり。初めての試みに生活者、職員が一丸となって、楽しい企画を作り上げました。

Ｔ・Ｄ・Ｉ（楽しい・大好き・いこいの村）

いこいの村の入所者は、年に１回の盛大なまつりを楽しみにしていました。コロナウイルスの影響で、日常の外出にも制限がかかり、外部との交流も少なくなり、代わりに何か施設内だけでも楽しめるイベントをしたい、というところから合同企画の相談が始まりました。

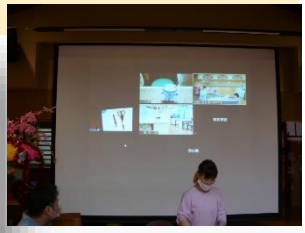
栗の木寮・梅の木寮・とくらの家に入所されている方合わせて１２１人、職員も含めて約１５０人が、感染予防をしながらどのような方法で交流ができるか、職員と入所者で集まり、実行委員会を開きました。

実行委員会で、
「太鼓や踊りがあるといいなぁ」
「模擬店で食べたいな」
「福引もあればよい」
「おみこしも作ろう」
「梅の木寮と栗の木寮で１基ずつ飾り付けしよう」
と次々に意見が出されました。

TDIの手話、作りました！

企画のテーマは、アンケートから３つの案に絞られました。
「レッツエンジョイいこいの村」
「村フェスティバル」
「ＴＤＩ(楽しい大好きいこいの村)」
どれも良くて迷い、多数決でも決まりませんでした。全部まとめたテーマに決定。「ＴＤＩ」の手話表現は栗の木寮あゆみ会会長池田さんが命名されました。「アイラブユー」の国際手話も入っています。

また、感染予防から多人数で一度に狭い空間に集まることは避けないといけません。時間差を設けてメイン会場に行き、それ以外はお互いの様子を映像で見て交流できるように、Zoom(ズーム)で３施設をつなごうという、初めての試みを行いました。



『いこいの村年表』と『生まれ年順の一覧表』も作成しました。

手形で集合！
心はひとつレインボーアート

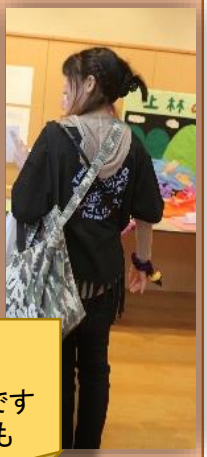
「何か共同作品を作りたいね」と、手と手をつなぎ合うようなイメージで手形アートも作りました。絵の具を手の平に塗らせてもらうと、この手で仕事や家事をしてこられたのだろうなぁと、重みや温かさが感じられました。そんな一人ひとりの手がつながって、いこいの村はひとつだと思います。夢や希望への架け橋となる、虹色の素敵なアートができあがりました。

ダンボールから、おみこしへ
栗みこしと梅みこし

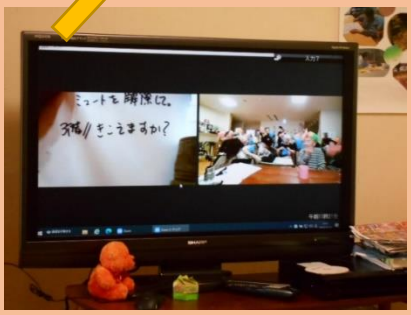
土台の２基を栗の木寮で作成して、各々飾りつけ作業を行いました。栗の木寮は神社やちょうちん付きのかっこいいおみこしに仕上がり、梅の木寮は花がいっぱいのきらびやかな、おみこしが出来上がりました。

いよいよ当日！！

9つの会場をZoomでつなぎました。



TDI　Tシャツ
イラストは栗梅とくらの合作です
アレンジして着こなす職員も



司会進行は
キャロラインとデイブ
（※記施設長と
村松施設長です）

福引の進行は
エンちゃんとジョイ君
（※所長と北部ネットワーク岡本副委員長です）

メイン会場では要約筆記担当が
皆さんのことばを文字に起こして
伝えました。

いこいの村 仮装コレクション2020

ハロウィンが近いこともあり、当日は思い思いの仮装をして楽しまれました。

いこいの村音頭に
太鼓で華を添えます。

ジェスチャーゲーム挑戦中。

スピーチ大会で「コロナが収まったら
遠出がしたい」と。

栗の木寮

ホームページ更新強化中！

いこいの村では、現在、インターネットを活用した情報発信に力を入れています。いこいの村ホームページのお知らせ欄にて、不定期的に梅の木寮、栗の木寮、在宅サービスの各活動や、生活の様子を紹介させていただいています。
「いこいの村ってどんなところ？」「普段何をしているの？」
あまり知っていただく機会のない、いこいの村の日常をぜひのぞきに来てください。
http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi/cms/ikoi_list.php もしくは「綾部市 いこいの村」で検索

＼各施設の様子／

レッツ エンジョイ 村フェス

T(たのしい)D(だいすき)I(いこいの村)

福引一等賞！
賞品はカタログギフト1万円分！
二等は高級牛肉、三等は加湿器。

梅の木寮

応援をバックに書道実況中継！

パソコンカメラに
向かってスピーチ。

模擬店は個包装で
お楽しみいただきました。

ジェスチャーゲーム奮闘中。
カメラ越しに伝わるように、
大きく大きく……

とくらの家

とくらの家の入所者の方より
開会のご挨拶。

地域のみんなが、共にいきいき暮らすために（生活支援体制整備事業）

皆さん「生活支援体制整備事業」とは、どんな事をするかご存知ですか？

綾部市では3年前から取り組んでおり、地域支え合い推進とも言われています。

地域での困り事や支え合いを、その地域の方で支えていこうという取り組みで、全国に広がっています。

この取り組みの推進役として「協議体（支え合い会議）」と「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」という仕組みが作られました。

協議体は、地域の方々がメンバーとなって、今やっている生活支援や無理なくできる地域の生活支援をみんなで話し合う仕組みです。

また、生活支援コーディネーターは、協議体と協力して自分たちの地域をより良くしていくために、様々な活動をつなげ、組み合わせる調整役を担います。綾部市では、生活支援コーディネーターを綾部市全体（第一層）と市内の12地区を3地域（西部、中部、東部の各地域・第二層）に分け1名ずつ置いて、助け合い・支え合いを広げる仕組みづくりを推進しています。

地域の灯が消える？

「生まれ育った地域の灯が消える。それが嫌で頑張っとんや」

これはある地域サロンの代表者の方のお言葉です。

今年はコロナ禍で、各地域のサロンや、各種集まりが中止となりました。そこで生活支援コーディネーターを中心に地域の支え合いの一つの形であるサロンの活動状況のアンケート調査を行いました。

サロン代表者の皆様から地域に対しての思いを聴かせていただきました。また、サロンを利用していた方々からも再開希望の声が上がるなど集まりの場を皆さんが求めておられます。

三密がこのサロンの売りや！

これまでも各地域のサロンでは色々工夫され、継続されてきました。

参加される方は耳が遠い方も多く、近くで話さないと通じにくくなります。なので肌の温かみが、わかるくらい近くの距離でお話されます。みんなが互いに自分の声で伝え合う事を大切にされているところもあります。

サロンでのゲームの様子

ここでコロナを出したら…

「今までサロンがあったけど開催できなくなった。今まで一緒に集まっていた方がどうしているか心配」という声も活動の中でいただいています。

ボランティアでサロンを運営されているので「ここでコロナが出たら責任をよう持たん」と言う声もあります。

このように地域の方が地域の方を支える難しさもコロナ禍の中から見えてきました。

今までの「いつもの事」ができなくなったコロナ禍により、皆さんが苦しい思いを持ちながら暮らしておられます。

認知症啓発の寸劇

私たち生活支援コーディネーターは皆さんの「地域を大切に思う気持ち」を直に感じています。その気持ちを大切にし、より良い地域になるように、これからもお手伝いさせていただきます。

（高齢福祉部　中川　啓芳）

介護のワンポイント レスパイトをご存じですか？

「レスパイト」とは日本語で「一時休止」や「休息」と言います。

24時間365日休みなく続く介護。根を詰めていては疲れてしまいます。

ホッと一息、たまには喫茶店にお茶を飲みに行ったり、旅行やお買い物など、気分転換をしていますか？

「そんな時間ないわ」「代りがいない」「そんな事言いにくい」という事はないですか？ 心も身体もリフレッシュしないと疲れ切ってしまいます。介護が続けられなくなれば介護されている方も困ります。

ご家族、ご近所、お友達などに愚痴をこぼしたり、相談しましょう。介護者の「レスパイト」を目的とした介護サービス利用も積極的にしていきましょう。

お近く包括支援センターやケアマネジャーに相談してください。

♦ご寄付　ありがとうございました♦

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

7月1日～10月24日受付分（1000円以上　順不同）

ｷﾀｲ設計㈱	様	福知山市	ﾏｽｸ
森本屋	様	綾部市八津合町	ｺｰﾋｰｾｯﾄ
㈱柴橋商会			
京都支店	様	京都市	お菓子詰合せ
福岡建設㈱	様	綾部市睦合町	ｺｰﾋｰ・お菓子詰合せ
ｶｰｼｮｯﾌﾟ 河島	様	島根県	お菓子詰合せ、秋宝梨
たかお商店	様	綾部市十倉名畑町	麺
北原建設㈱	様	綾部市味方町	飲料ｾｯﾄ
ｲﾜﾀﾆ近畿㈱			
福知山営業所	様	福知山市	酵素飲料
福井石油㈱	様	綾部市睦合町	ｺｰﾋｰｾｯﾄ
ｸﾛｽﾛｰﾄﾞ 土田 大介	様	綾部市渕垣町	ｺｰﾋｰｾｯﾄ
四方　千里	様	綾部市鷹栖町	ﾀｵﾙ・紙ﾊﾟﾝﾂ
京都府茶協同組合	様	宇治市	茶（ﾃｨｰﾊﾟｯｸ）
ｲﾝ・ｻﾞ・ﾙｰﾑ	様	綾部市若松町	防水ｼｰﾂ、敷布団ｼｰﾂ
相根　正広	様		
吉広	様	綾部市高槻町	しば栗
国際ﾛﾌﾟﾁｽﾄ			
京都-弥生	様	京都市	300,000円
藤原　源一	様	岐阜県	10,000円
高橋　秀文	様	綾部市忠町	5,000円

♦後援会　ご入会･ご継続　ありがとうございました♦

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

7月1日～10月15日受付分（順不同）

佐原　一徹	様	綾部市睦寄町	継続
瀧野 トシヱ	様	綾部市睦合町	継続
大友 たけ子	様	綾部市故屋岡町	継続
大田 ふさえ	様	綾部市五津合町	継続
杉尾 マツエ	様	綾部市五津合町	継続
阪田 ヒサ子	様	綾部市五泉町	継続
山崎 フミ江	様	綾部市五泉町	継続
内藤 和子	様	舞鶴市	継続
山口 修	様	綾部市十倉志茂町	継続
川端 貞男	様	綾部市十倉志茂町	継続
山口 潔	様	綾部市十倉志茂町	継続
竹市 直彦	様	綾部市十倉志茂町	継続
川端 ひとみ	様	綾部市十倉中町	継続
北谷 美智子	様	綾部市十倉中町	継続
渡邉 良子	様	綾部市十倉中町	継続
渡邊 逸郎	様	綾部市十倉中町	継続
小松 広士	様	綾部市十倉中町	継続
川端 康太	様	綾部市十倉中町	継続
川端 省三	様	綾部市十倉中町	継続
渡辺 宏視	様	綾部市十倉中町	継続
徳丸 節子	様	綾部市十倉中町	継続
大槻 三義	様	綾部市十倉中町	継続
渡辺 典生	様	綾部市十倉中町	継続
竹原 芳昌	様	綾部市十倉中町	継続

～認知症安心サポート窓口～

- **12月 16日(水)**
- **1月 20日(水)**
- **2月 17日(水)**

午後から

〈お問合せ先〉とくらの家
電話・ファクス：0773-46-0771

幅広い年齢層が活躍中♪

職 員 募 集 ！

※職種　介護職員、生活支援員、調理員、
看護職員、訪問介護員、
送迎員（デイサービス）

いこいの村聴覚言語障害センター
電話（0773）46-0101
ﾌｧｸｽ（0773）46-0610（担当：今西）

詳しくは、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会HPもご覧ください

高齢者の方にもおすすめ！ やさしい献立 Vol.14

白菜と えのきの生姜スープ

☆材料（2人分）

白菜		100ｇ
えのき		100ｇ
ベーコン		2枚
A	水	2カップ
	鶏ガラスープの素	小さじ2
	生姜	チューブ1～2㎝
片栗粉		小さじ2
水		大さじ2

寒い季節に最適♪♪♪

野菜たっぷり 生姜ぽかぽかスープ

☆作り方

①白菜は、食べやすい大きさに切る。えのきは、石づきをとり、長さを半分に切る。ベーコンは、1㎝幅に切る。

②鍋に、白菜→えのき→ベーコンの順に重ね、Aの調味料を注ぐ。蓋をして中火にかけ10分ほど蒸し煮にする。

③火を弱め、水と合わせた片栗粉を回し入れる。やさしく混ぜ合わせながら、中火にかけとろみがついたら完成！

★お好みで黒コショウやパセリをかけても美味しいです！スープで食べると、加熱調理で流出してしまう栄養素も汁ごとしっかり摂取することができ、食べ応えもあるうえ、体の中から温まります。

２０２０年（令和２年）１１月２０日発行

いこいの村

第４３３号

「食」で支える

平成６年12月「口上林訪問給食サービス」が開始されました。今から26年前の事です。

綾部東部デイサービスの利用者から「食事の準備や買い物が難儀や」と、食事の不自由さを話していただいたのがきっかけでした。

口上林の皆さんと

そんな地域の方に食事を届けようとまだ制度がない中、当時の口上林民生委員の皆様や自治会連合会、老人クラブ、婦人会の皆様の協力を得て毎週木曜日、７名の方への配食からスタートしました。「手から手へと渡される食事のぬくもりで、心まで温かくなる」と今も、多くの喜びの声が寄せられています。

綾部市の制度に

地域の皆様の声が届き、現在は、在宅高齢者等配食サービス事業として市から委託を受けて実施しています。希望された方がすべて利用できるものではなく、配食サービスの必要性が認められる方のみの実施となっています。

そのため、いこいの村では、市の配食サービスに該当しない方にも独自の配食サービスを実施しています。

現在約40名の方に利用いただき、今後ますます新規のご相談も増える見込みです。

担い手不足の中で

地域の方々と共に始めた配食サービスですが、現在いこいの村では、深刻な人手不足で、皆様のご要望に充分お応えできない状況です。加えて東部地域は市街地から遠く、民間業者も次々に撤退されています。

かつて地域の方々と作り上げたように、市や地域の方々のお力をお借りして今後も東部地域の「食」を支え続けたいと考えています。

心のこもった食事とぬくもりを地域の方にお届けする仕事をご一緒に担っていただける調理員を募集しています。ぜひ、ご応募ください。

（高齢福祉部　薗田　久美子）

施設長エッセイ

あなたを忘れない

いこいの村
栗の木寮
施設長　村松　充

別れは突然やってきます。10月5日早朝、坂東明さん（享年81歳）が心筋梗塞のため急逝されました。

坂東さんは戦前に四国で生まれました。ろう教育を受けられず、家の農業を手伝うなどして過ごされていました。その後、手袋工場勤務などを経て、昭和57年の開設まもなく入所され、以来38年間、栗の木寮のあゆみを共に築いてこられた仲間です。

坂東さんは栗の木寮の農業やしめなわづくりなどに力を発揮されました。学校に行けなかったため手話という言語は獲得できなかったのですが、自分の仕事や思いを独特の身振りを使って表されていました。故郷から離れた栗の木寮での暮らしは、時には寂しい時や苦しい時があったでしょう。両手のげんこつで頭を殴る仕草で自分の気持ちを表現されることもありました。

そんな坂東さんは栗の木寮で出会った職員たちに農業の畝づくりや草刈りを笑顔で教えられ、時には真剣に向き合う中で喧嘩したりすることもありましたが、「仕事」がいかに人にとって大切なものであるかを教えられてきました。

坂東さんのお別れ会を6日に開催し、ご家族や旧職員、地域の方も参加されました。

いこいの村を自分の棲家として高齢になられてからも自主的に栗の木寮周辺の草刈りに精をだされていた坂東さん。あなたのことを忘れません。